

「市民の信頼を得ながらインフラの維持管理・更新をどう図るか」

共 催： NPO 法人シビルNPO 連携プラットフォーム
NPO 法人社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会

協賛（予定）： 土木学会・日本建築学会・日本コンクリート工学会
日本材料学会・日本鉄鋼協会・セメント協会

※ 土木学会認定 CPD プログラム（予定）

<目的・ねらい>

平成 27 年度の国勢調査によると、日本の人口は 1 億 2711 万人で、大正 9 年調査開始以来、初めて人口が減少した。また高度経済成長期にインフラ（社会資本）が集中的に整備された結果、今後一気にこれらのストックの老朽化が進むとみられている。すなわち少子高齢社会とインフラの老朽化がほぼ同時に進むということになる。それだけではない。インフラを集中的に整備した高度経済成長期は、質よりも量の整備に重点を置いた結果、中には「安かろう悪かろう」という粗悪なものもあり、予測を上回って老朽化や劣化が進んでいることも考えられる。

さらに問題なのは、受益者である市民は事業主体（行政や公営企業体等受益者）に任せっぱなしで、インフラの実態について十分に理解していないということである。

少子高齢化の進行で財政が今後ますます硬直化することが予想される中で、インフラの維持管理・更新、さらには現況と将来を見据えての再編・統廃合を含め、それらの対応が適切に行われるかどうか懸念されており、そのためには受益者であり納税者である市民の理解が欠かせない。市民の信頼を得ながらインフラの維持更新をどう図るか、特に財政規模の小さな自治体では喫緊の課題である。

<日時・場所>

○2016年7月20日（水）12:45～16:55

○スクワール麹町（東京都千代田区麹町 6-6 TEL 03-3234-8739） JR 四ツ谷駅前（麹町口）

<プログラム>

開会の挨拶と趣旨説明（NPO 法人 阪田憲次理事長） 13:00～13:10

第一部：ミニ講演 13:10～14:30（80分）

- ①土木全体の視点で：インフラメンテを考える三つの視点
山本卓朗氏（NPO 法人シビル NPO 連携プラットフォーム代表理事・元土木学会会長）
- ②インフラ管理の視点：メンテナンスからマネジメントへ～動き出した ISO55001～
小林潔司氏（京都大学経営管理大学院教授・京都大学工学研究科教授（併任））
- ③市民社会と協働の視点：「新しい市民社会」を拓く参加と協働のデザイン
世古一穂氏（NPO 法人 NPO 研修・情報センター代表理事・元金沢大学大学院教授）
- ④水道事業専門家の視点：いのちの水は大丈夫か？
山田雅雄氏（元名古屋市副市長・元名古屋市上下水道局長・中部大学客員教授）

<休憩> 14:30～14:45（15分）

第二部：パネルディスカッション／会場との質疑応答 14:45～16:45（120分）

「市民の信頼を得ながらインフラの維持管理・更新をどう図るか」

○コーディネーター NPO 齋藤宏保副理事長（元NHK解説主幹）

○パネリスト

* 第一部 4名の講演者 有岡正樹理事

○パネルディスカッションの論点

* インフラ老朽化の現状をどう考えるか。また適切な維持管理や更新がされないとならぬか。

* インフラの適切な維持管理や更新を行うためにはどうすればいいのか。

* インフラの維持管理や更新の鍵を握るのは、納税者の一般市民。

* どうすれば一般市民の理解と参加・協働を得られるのか。

閉会の挨拶（NPO 阪田理事長） 16:45～16:50（10分）

<意見交換会>

○17:00～ スクワール麹町 4F 羽衣の間